

令和8年度兵庫教育大学教員研修プログラムシラバス

講習ID	26052									
講習名	教材解釈から始める音楽科授業づくりへの新たなアプローチ									
講習活用区分	<input type="radio"/> 自主研修	<input type="radio"/> 中堅教諭等資質向上研修（兵庫県、神戸市、堺市）								
	兵庫県15年研・20年研等									
実施日時	令和8年8月7日(金) 10:10～16:00								振替対応	無
募集人数	12人		最小開講人数	8人						
実施形態・会場	対面型									
	加東キャンパス				教室		芸術棟100教室			
対象校種	<input type="checkbox"/> 保育士	<input type="checkbox"/> 幼稚園教諭	<input type="checkbox"/> 小学校教諭							
	<input type="checkbox"/> 中学校教諭	教科指定：有 音楽		高等学校教諭		教科指定：				
	<input type="checkbox"/> 特別支援学校教諭	<input type="checkbox"/> 養護教諭		<input type="checkbox"/> 栄養教諭		その他対象：				
対象職位	<input type="checkbox"/> 若手	<input type="checkbox"/> 中堅	<input type="checkbox"/> ベテラン	<input type="checkbox"/> 学校管理職	<input type="checkbox"/> トップリーダー					
担当講師	講師1	氏名：	河邊 昭子		所属：	兵庫教育大学				
	講師2	氏名：			所属：					
	講師3	氏名：			所属：					
	講師4	氏名：			所属：					
	講師5	氏名：			所属：					
	講師6	氏名：			所属：					
到達目標	〔共通事項〕の音楽的意味への理解を深めるとともに、教材解釈を基にした音楽科の授業構成力を身に付けることを目指します。									
講習目的・内容	<p>児童生徒に音楽の楽しさを伝えたい！と思って授業を考えているうちに多くの時間を学習指導案の作成に費やし、いつの間にか音楽から離れていた、そんな経験はありませんか。本講習は「音楽を教える」ではなく「音楽と向き合う」視点から授業づくりを考えます。講義では、〔共通事項〕の音楽的意味をふまえた教材解釈について理解します。演習では、教師が教材から見いだした音楽の魅力の本時の展開に反映させる道筋を探ります。</p> <p><input type="checkbox"/> 探究活動を含む <input type="checkbox"/> 省察を含む</p>									
講習計画	【時間】			【内容】						
	10:10	～	10:15	オリエンテーション						
	10:15	～	11:45	【講義】教材を音楽として捉える 〔共通事項〕の音楽的意味の理解を理解した上で、教材解釈のポイントを確認します。						
	12:45	～	14:15	【演習1】自ら演奏して確かめる 強弱や速度等の変化がもたらす効果を実感し、児童生徒が「知識や技能を得たり活用したりしながら」思いや意図をもつ過程を探ります。						
	14:25	～	15:55	【演習2】学習指導案「本時の展開」に反映させる 教材解釈の内容を基に学習活動を設定し、指導上の留意点を考えます。						
	15:55	～	16:00	アンケート						
		～								
		～								
		～								
受講者の方へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>各会場の空調につきまして、当日の気温等に応じて調整しておりますが、会場によっては、どうしても吹き出し口とその他の場所で温度差が出てまいります。講習当日は体温調節のしやすい服装でお越しください。</li> <li>小学校教諭の方はソプラノリコーダーを、中学校教諭の方はアルトリコーダーをご持参ください。</li> </ul>									
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>本講習は地域センター事業の一環として無償で行います。</li> </ul>									